

【陽光台公民館の空調機(エアコン)の故障について】

現在、陽光台公民館内の全室で空調機（エアコン）が故障のため、冷房の利用ができず、室温が高い状態で開館しております。

ご来館の皆様には大変なご不便及びご迷惑をおかけいたしまして申し訳ございません。

現在の空調設備は修繕が出来ない状況のため、本年9月から予定しております空調設備更新工事を実施し、年内には復旧できる見込みです。

今夏も酷暑の予報が出ておりますので陽光台公民館の利用は極力避けていただき近隣の公民館の利用について検討をお願い致します。

扇風機使用の対策はしておりますが、ご利用になる場合は熱中症予防等、体調には十分気を付けていただくようお願い致します。

なお、例年開催しております夏休みスタディールーム、はつらつ学級は熱中症等への安全対策を図るため今年度は中止とさせて頂きましたのでご了承ください。

♪ 子ども食堂 ♪



ごめんなさい

陽光台公民館の空調施設故障の為、7月と8月のパプリカは料理が出来ない為、下記のように実施致します
よろしくお願い致します

子ども(中学生まで)限定

パンと飲み物

陽光台公民館にて無料配布

(限定 70食)



2024年7月15日(月・祝) 11:30~12:00

2024年8月25日(日) 11:30~12:00

お問合せ: 代表 岡見(080-5177-0757) 事務局 南(080-5956-5979)
後援: 相模原市



公式LINE登録してね♪

次回開催&メニューなどをお届けします。

文学講座

【枕草子】

「春は曙」の真実



〈開催日〉

1回目 9月1日(日) 午前10時～正午

2回目 9月8日(日) 午前10時～正午

★連続講座なので回毎の募集はしません。ご注意ください。

『源氏物語』とともに平安文学の双壁とされる『枕草子』

『枕草子』と聞けば、「春は曙、やうやうしろくなりゆく山ぎは・・・」「雪のいと高う降りたるを、例ならず御格子参りて・・・」などの有名な冒頭部分が、口をついて出る人も多いことでしょう。

今回は、『枕草子』の全体像をできるだけ明らかにしながら、『枕草子』の新しい読みを試みようと思います。

「春は曙」について、従来の私たちの読みは間違っていたかもしれない。そんな視点で『枕草子』を読み進めていきましょう。

第1回『枕草子』の世界

- (1) 『枕草子』の時代・・・摂関政治と中の関白家
- (2) 『枕草子』に登場する人々・・・主人・中宮定子とその周辺の人々
- (3) 清少納言の生涯・・・歌人の家に生まれたものの
- (4) 『枕草子』の内容と執筆動機・・・「跋文」(あとがき)に着目して

第2回『枕草子』を読む

- (1) 「春は曙」の真実・・・なぜ春は曙なのか
- (2) 清少納言の恋人・藤原実方のこと・・・西行や芭蕉を惹きつけた人物
- (3) 清少納言と紫式部・・・「忘れられる」をキーワードに
二人は孫の代まで「訳あり」の仲だった
- (4) 再び「曙(あけぼの)」について



場 所：光が丘公民館 大会議室 (陽光台公民館空調故障のため)

講 師：文学研究家 栗原 一郎 先生

参加費：無料 持ち物：筆記用具、飲み物 定 員：30人

対 象：中学生以上

申 込：8月4日(日)～8月27日(火) 窓口、お電話、QRコードのいずれかで。

